

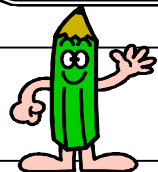


カムリウミスマ

門川町教育研究所

ふれあい

平成22年5月 NO1
発行 門川町教育研究所
所長 斉藤 義輝
TEL 63-1566
五十鈴小学校内(教育相談室)



教育研究所は、門川町の子どもたちの「学力向上」をめざして、今年も確かな研究・実践に取り組み、情報を発信します！

委嘱状交付式

はじめに、本年度の6名の研究員に委嘱状が交付されたあと、平木教育委員長や中野北部教育事務所長、吉春校長会長から、「門川町教育の向上のために先頭に立ってがんばってください。」という激励の言葉がありました。その後、西門川中学校の長友研究主任が、「皆さん方の期待に応えられるように、研究員一同力を合わせてがんばります。」と、あいさつをしました。



平成22年度委嘱状交付式

本年度の課題

その後の第1回研究員会では、斉藤教育長の講話やこれからの研究の進め方についての話がありました。この中で、斉藤教育長から、「門川町の本年度の最重要施策である、“生きる力をはぐくむ『確かな学力向上』の推進”のために努力してほしい。」という話がありました。

また、これからの研究の進め方では、学力向上のために授業を改善する研究やドリル学習の工夫についての研究などではできないだろうかといった、いろいろな意見が出されました。

本年度の研究員

*本年度の教育研究所の所員一同です。よろしくお願いいたします。



門川町の教育のレベルアップを図るために、こんな研究や活動をしてはどうかというご意見やご要望などがありましたら、ぜひお寄せください。

職 員	所 属	氏 名
所 長	教 育 長	斉藤 義輝
事務局員	教育総務課	和泉 昭子
研究指導員	教育総務課	山本 逸馬
研究主任	西門川中学校	長友 政文
研 究 員	門 川 小 学 校	島 洋一郎
研 究 員	草 川 小 学 校	川崎 利康
研 究 員	西門川小学校	吉留 純子
研 究 員	五十鈴小学校	三樹 史朋
研 究 員	門 川 中 学 校	酒匂 慎一郎

門川町の子どもたちの学力向上をめざして！

(門川町教育研究所は、学力向上のための情報発信や提言を行っています。)

平成21年度全国学力・学習状況調査から(小6・中3)

“福井県のあるお母さんの言葉”

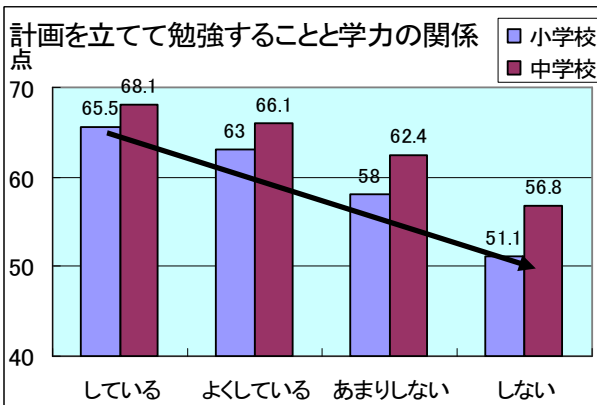
「特別なことはしていません。あたりまえのことをあたりまえにすることが、学力を高めることにつながっています。」



「特別なことはしていません。あたりまえのことをあたりまえにしているだけです。」

これは、学力全国1・2と言われる福井県で、「家庭でどんな工夫をしていますか?」という調査をしたところ、保護者から返ってきた答えだそうです。このあたりまえの中には、学校の宿題は必ずさせる、宿題をすませなければ遊びに行かせない等の、本当にあたりまえのことが書かれていました。福井県では、このあたりまえの力が、高い学力をつくり出していたということです。

「時間を決めて、勉強をする。」あたりまえのことを、あたりまえにやろう！



左のグラフは、計画を立てて勉強することと学力の関係を調べたものです。計画を立てて勉強している子どもと、そうでない子どもでは小学生で14点、中学生で11点の学力差があります。

毎日の生活では、1日の生活計画を立てて、学習を中心にきまりよい生活をする事で学力を伸ばすことができます。あたりまえのことをあたりまえにすることが、このきまりよい生活です。

教育研究所からのアドバイス

家庭では、子どもの一日の生活の中に、宿題をするなどの勉強時間を必ず位置づけ、家庭学習の習慣づくりに取り組みましょう。勉強してから遊びに行く、勉強してから寝る、といった「あたりまえのことをあたりまえにできる力」をしっかりと育て、毎日勉強することをあたりまえにしましょう。

○ あたりまえの学習習慣づくり3つのポイント

ポイント1 勉強時間の目標を立てましょう。(学年に応じた時間を少し上回る目標を立てましょう。)

ポイント2 毎日続けることを大切にしましょう。(勉強しない日はつからないようにしましょう。)

ポイント3 遊びの約束をつくりましょう。(勉強と遊びの時間のバランスをとりましょう。)

子どもの教育や子育てで、悩んでいませんか？

困った時には、**教育相談室に気軽に電話をしてください。**

相談電話(門川町教育相談室)

63-1566

~~~~返信欄 (「ふれあい」への返信がありましたら、担任の先生へお届けください。)~~~~